

いきもの豊かな田んぼを未来へ

―「田んぼの草取りゲンゴロウ」による環境配慮型農業―



活動の場所

長野県松本市



活動目的

農家にとって負担の大きい水田の除草作業を省力化し、農業を無理なく継続できる環境をつくることを目的としています。農家の負担を減らしながら、除草剤に過度に依存しない農業を広げることで、農業と生物多様性の保全・回復が両立する水田環境を目指しています。

活動内容

水田の除草作業を省力化する「田んぼの草取りゲンゴロウ」を開発・普及しています。

「田んぼの草取りゲンゴロウ」は、稲の条間と株間を同時に除草できる、軽量で浮力のある水田用除草器具です。小規模・不整形な水田や棚田、手植えによる不均一な植付けの水田など、機械による除草が難しい水田での利用にも対応しています。



また、自ら管理する水田では、農薬・化学肥料・有機肥料を使用しない稲作を実践し、水田に生息する生きものの観察・記録を行っています。現在、この水田について自然共生サイトへの認定を申請しています。



PRしたいポイント

【環境配慮型農業】 【水田の生物多様性】 【農作業の省力化】 【自然共生】 【30by30】

「自然を守るために農家が我慢する」のではなく、農家自身が楽になり、農業を続けやすくなった結果として、生きもの豊かな田んぼが増えていくことを目指しています。農業と生物多様性保全を対立させず、農家の負担軽減と自然環境の保全を両立させることが、この取組の特徴です。

活動効果、今後の展開 等

「田んぼの草取りゲンゴロウ」の利用により、水田の除草作業時間の削減と雑草抑制につながっています。他の利用水田では、ヒエ、コナギ等の雑草が大幅に減少した事例が確認されています。今後は「田んぼの草取りゲンゴロウ」の普及を通じて、農家が無理なく続けられる環境配慮型の水田を増やし、生物多様性の保全・回復に貢献し、さらに、自然共生サイトへの認定を目指し、30by30の実現に向けた取組として発信していきます。

ゲンゴロウ本舗

<https://www.gengoro.shop/p/00014>